

授業概要

教職課程履修者で、免許取得に必要な科目をすべて修得し、かつ教育実習を終了した学生を対象とした授業である。

教職課程の各科目の履修により習得した専門的知識や技能、及び教育実習の体験を踏まえ、教師としての資質・能力の総体について考え、それを身につけていく授業である。また教育現場で対応できる実践的なスキルを習得する。授業は講義、演習のほか、フィールドワーク等も取り入れる。

なお、最終回には、各自が設定したテーマについて探求した結果の発表会を行う。

授業計画

第1回	教職実践演習の趣旨、授業計画の説明、履修カルテの記入
第2回	教育実習のまとめと課題の整理① 「実習の目標」の振り返り
第3回	教育実習のまとめと課題の整理② 教科指導・教科活動の振り返り
第4回	教育実習のまとめと課題の整理③ 教科指導・教科活動以外の教育活動についての振り返り
第5回	実習レポートの完成と今後の課題の点検
第6回	自らの課題を克服するための研究テーマの設定
第7回	教員に求められる資質・能力の探求① 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力の確認
第8回	教員に求められる資質・能力の探求② 授業にICTを活用して指導する能力の確認
第9回	教員に求められる資質・能力の探求③ 生徒のICT活用を指導する能力の確認
第10回	教員に求められる資質・能力の探求④ 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力の確認
第11回	各自が設定した研究テーマの研究の進捗状況の報告
第12回	教科指導の不得意領域の確認とその克服方法
第13回	教科指導の不得意領域の確認と改善策
第14回	課題を解決した授業指導案作成
第15回	課題を解決した授業指導案による模擬授業
第16回	ICTを活用した研究発表会・履修カルテの完成

到達目標

- ・使命感や責任感、社会性や対人関係能力といった教員としての基礎的な資質を培うことができる。
- ・生徒理解や学級経営等に関する事項、チームとしての学校への対応、教科の指導力（ICT活用能力を含む）といった教員としての専門的な資質・能力を培うことができる。

履修上の注意

第1回のガイダンス授業の際に、授業方法・評価方法・予習・復習について詳細に説明する。成績評価に関わる内容であるため必ず出席すること。なお、第1回目の授業に出席できない特別な理由がある場合（あった場合）には申し出て、配布資料を必ず受け取ること。

予習・復習

予習：各回における、「実習の手引き」、学習指導要領、生徒指導提要の該当箇所を精読する。
 復習：毎回の授業で出題された課題を確認する。

評価方法

受講態度 50%・提出物の内容 10%・発表会の評価 40%を基本とし、総合的な観点から評価を行う。教職に関する科目のため、成績評価は厳しい態度で行う。なお、履修者の状況によっては中間テストを行う場合がある。評価方法の詳細は、第1回のガイダンス授業で説明する。

テキスト

参考文献：これまで教職課程の授業等で使用してきた「学習指導要領」、「生徒指導提要」、「介護等体験の手引き」、「教育実習の手引き」、「介護等体験記録ノート」、「教育実習記録」、「履修カルテ」を準備すること。その他、適宜、授業資料・プリントを配布する。